

## 国際交流基金助成事業報告書

薬学部 4年次 奥野礼華

### はじめに

私は、2023年3月6日から16日までの間、本学薬学部が主催するオーストラリアでの海外語学研修に参加し、ニューサウスウェールズ州キングスクリフにある TAFE (Technical and Further Education) NSW(New South Wales)という所で英語、薬学、オーストラリアについて学びました。

### 授業

TAFE は職業訓練校で、美容師やアートなど数多くのコースがあり、幅広い年齢層の人が通っているのが見受けられました。

### English Class

英語の授業ではオーストラリアの文化、生き物、海の危険性やルールについて学びました。

グループワークでは、授業中にわからなかった単語をみんなで挙げていき、ゲームをしたりして楽しく単語を覚えたり、いくつかのグループに分かれて週末したことを英語で話したり、先生が用意してくれた質問表に順番に答えあったりしました。

先生は授業中にたくさん質問してくれたため、たくさん英語を使う機会が増えました。また、ホストファミリーと一緒にできるような宿題を毎回出してくれたので、家に帰ってからホストファミリーと話す機会を作れたと思います。



### Pharmacy Class

薬学の授業は TAFE で 2 回、グリフィス大学で 1 回あり、午後 1 時から 4 時まで 3 時間、合計 9 時間の講義を受けました。

TAFE での 1 回目の授業では、オーストラリアの薬の分類や医療サービス制度など動画を使いながら説明して頂きました。

オーストラリアの医薬品は schedule という区分で分けられており、日本でいう要指導医薬品、一般医薬品(1.2.3 類)などと同じような分類をされていました。

オーストラリアでの医療サービス制度は PBS(Pharmaceutical Benefits Scheme)というものが導入されており、国民はカードの提示により一部、又は全額を国が負担するという、日本でいう保険証のようなものであることを学びました。

TAFE での 2 回目の授業では、Chempro というオーストラリアのチェーン薬局の薬剤師の方が来られてオーストラリアの薬局の現状などを解説して頂きました。

薬局に売っている商品の説明では、実際に商品を試すことができ楽しく講義をして頂きました。



4 日目のグリフィス大学の授業では、薬学部について学びました。オーストラリアでは webster という日本でいうお薬カレンダーと一包化を合わせたようなものが導入されており、それを実際作る体験をしました。



## 休日

友達のホストファミリーの家の前が川であったため、カヌーと SUP をさせてもらいました。川は透明度が高くとても綺麗で、近くには飛行場があったので飛行機を間近で見ることができ、素敵な場所でした。

ブリスベンの名門大学であるクイーンズランド大学に行きました。ハリーポッターに出てくるような校舎で圧巻されました。日曜日にも関わらず、自習している生徒が多くて感銘を受けました。



川



ブリスベン



クイーンズランド大学

### ホームステイ

ホストファミリーの家族構成は、ホストマザーと23歳の娘さんの2人でした。マザーは、お話上手で思いやりのある方でした。家では快適に過ごせるよう気を配ってくれました。朝から夕方まで働いていて大変にも関わらず、毎日美味しい夕食を作ってくれました。娘さんも親切な方で、私が困ったことがあった時には解決方法を考え助けてもらいました。オーストラリアの若者の間で流行っている物やおすすめのビーチについて教えてくれました。また、犬3匹と猫1匹がおり、彼らも個性的でとても面白かったです。毎日のようにネットフリックスを見たりするなど楽しい時間を過ごすことができました。今回私は、英語の勉強をしないまま行ったため、当初、聞き取ることや英語を表現する難しさを痛感しました。しかし、時間が経つにつれ、初日に比べると、リスニング力とスピーキング力が高まっていることを実感しました。

今回が私にとって初めてのホームステイであったため、行く前は不安でいっぱいでしたが、ホストファミリーのおかげで充実した日々を送ることができました。



犬



ホストファミリー

## まとめ

オーストラリアと日本の薬学の違いを学ぶという貴重な経験ができました。今回の滞在を通して、より一層英語を学びたいというモチベーションにもなりました。